

子吉川水系漁業協同組合
内共第23号第五種共同漁業権
遊漁規則

(目的)

第1条 この規則は、子吉川水系漁業協同組合（以下「漁協」という。）の有する内共第1号第五種共同漁業権に係る漁場（以下単に「漁場」という。）区域において、組合員以外の者のする当該漁業権の対象となっている水産動植物（あゆ、いわな、やまめ、こい・ふな、やつめ、もくずがに、うぐい及びさくらますをいう。以下同じ。）の採捕（以下「遊漁」という。）についての制限に関して必要な事項を定めるものとする。

(遊具の承認及び遊漁料の納付義務)

第2条 漁場区域内において遊漁をしようとする者は、あらかじめ、漁協に申請してその承認を受けなければならない。

2 前項の規定による申請は、手釣・竿釣・友釣、空掛による遊漁の場合には口頭で、その他の場合には遊漁対象水産動物、漁具、漁法、遊漁区域及び遊漁期間を記載した遊漁承認申請書を提出又はオンラインシステムによりしなければならない。

3 漁協は、第1項の規定による申請があったときは、手釣又は竿釣による遊漁の場合には第12条に規定する場合を除き、その他の場合には当該遊漁の承認により当該水産動植物の繁殖保護、組合員若しくは他の遊漁者（第1項の承認を受けた者をいう。以下同じ。）の行う水産動植物の採捕に著しい支障があると認められる場合又は第12条に規定する場合を除き、第1項の承認をするものとする。

4 遊漁者は、直ちに、第7条第1項の遊漁料を同条第2項の方法により漁協に納付しなければならない。

(漁具、漁法の制限)

第3条 次の表の左欄に掲げる漁具・漁法による遊漁は、それぞれ右欄に掲げる規模・条件の範囲内でなければならない。

漁具・漁法	規模・条件
かに籠	遊漁券1枚あたり3個まで（1人1枚までの購入）

(遊漁期間)

第4条 次の表の左欄に掲げる魚種を対象とする遊漁は、それぞれ右欄に掲げる期間内で行わなければならない。

魚種	期間
あゆ	7月1日から10月31日まで
いわな・やまめ	4月1日から9月20日まで
こい・ふな	1月1日から12月31日まで
やつめ	9月1日から翌年4月30日まで

うぐい	1月1日から12月31日まで
もくずがに	4月1日から6月10日及び9月1日から10月31日まで
さくらます	4月1日から8月31日まで

(禁止区域)

第5条 前条の規定による期間内であっても、次の表の左欄に掲げる魚種・区域内においては、それぞれ右欄に掲げる期間中は、遊漁をしてはならない。

魚種	区域	期間
すべての遊漁	由利本荘市滝沢頭首工上流端から下流の由利本荘市矢島町川辺字小坂戸下442番地先の標木までの区域	1月1日から12月31日まで
あゆ	由利本荘市鮎川地先の鮎川と故吉川の合流点の標木から故吉川の上流300m、下流1500mまでのあゆの産卵場の区域	9月1日から10月31日まで
	由利本荘市鮎瀬の鮎瀬橋から下流1,200mの石沢川、子吉川の合流点までの区域	
さくらます	由利本荘市矢島町新荘神代山二番堰堤八塩沢川起点から下流子吉川の合流点まで	1月1日から12月31日まで
	由利本荘市大築鑿出地先大築川起点から下流石沢川の合流点まで	
	由利本荘市奥ヶ沢三方森地先奥ヶ沢川起点から下流石沢川の合流点まで	

(全長制限)

第6条 次の表の左欄に掲げる魚種は、それぞれ右欄に掲げる全長以下のものを採捕してはならない。

魚種	全長
いわな・やまめ	15cm
こい	15cm
やつめ	30cm
もくずがに	甲幅長5cm
さくらます	15cm

(遊漁料の額及び納付方法)

第7条 遊漁料の額は、次のとおりとする。ただし、遊漁者が小中学生及び肢体不自由者（身体障害者手帳3級以上）のときは無料とし、高校生のときは半額とする。次項ただし書に規定する方法により納付するときは、さくらますについては1,000円、その他の魚種については500円を加算した額とする。

魚種	漁具・漁法	遊漁料
あゆ	手釣、竿釣 友釣、空掛	日券1,500円 年券8,000円

(一般魚) こい・ふな いわな・やまめ うぐい	手釣、竿釣	日券1,000円 年券4,000円
もくずがに	かに籠	年券4,000円
さくらます	手釣、竿釣	1日券3,500円 3日券8,000円 年券15,000円

2 遊漁料は、次に掲げる場所、漁協が指定するオンラインシステム又は漁協のウェブサイト及び水系内の掲示板にて公表する場所において納付しなければならない。ただし、当該遊漁をする場所において漁場監視員に納付することができ

(1) 子吉川水系漁業協同組合事務所 秋田県由利本荘市埋田字元工伝20

(2) 組合が別に定め公表する遊漁券取扱所

(遊漁承認証に関する事項)

第8条 漁協は、第2条第1項の承認をしたときは、次に掲げる事項を記載した遊漁承認証（オンラインシステムにより発行されるものを含む。）を遊漁者に交付するものとする。

- (1) 承認を受けた者の氏名、住所
- (2) 承認期間
- (3) 魚種
- (4) 漁具・漁法
- (5) 遊漁区域
- (6) 遊漁料の額
- (7) 注意事項
- (8) その他参考となるべき事項
- (9) 発行者名

2 遊漁承認証の交付は、前条第2項に規定する場所、漁協が指定するオンラインシステム又は漁場監視員において行うものとする。

3 遊漁承認証は他人に貸与してはならない。

(県内共通遊漁の承認に関する事項)

第9条 この漁場区域及びア表に掲げる全ての漁場区域において、イ表左欄の水産動物を同表中欄の漁具・漁法を使用して遊漁しようとする者は、第2条、第7条及び第8条の規定にかかわらず、あらかじめ、イ表右欄の1年当たりの遊漁料を納付し、当該遊漁について秋田県内水面漁業協同組合連合会（以下「漁連」という。）の承認を受けなければならない。

ア表

漁場区域（漁業権番号）
内共第1号から内共第25号まで (ただし、内共第13号、内共第22号を除く)

イ表

水産動植物	漁具・漁法	遊漁料（1年）
いわな・やまめ	手釣り・竿釣り	15,000円

2 前項の遊漁料の納付及び遊漁承認証の交付は、次の場所又は漁連が指定するオンラインシステムにおいて行うものとする。

(1) 秋田県内水面漁業協同組合連合会及び同会の指定する販売所

3 第1項の遊漁承認証に記載する事項は秋田県内水面漁業協同組合連合会の定めるものとする。

(遊漁に際して守るべき事項)

第10条 遊漁者は、遊漁をする場合には遊漁承認証を携行し、漁場監視員の要求があったときは、これを提示しなければならない。

2 遊漁者は、遊漁に際しては漁場監視員の指示に従わなければならない。

3 遊漁者は、遊漁に際しては相互に適当な距離を保ち、漁業者及び他の者の迷惑となる行為をしてはならない。

4 遊漁者は第3条に指定する区域内における川底を攪拌してはならない。

5 遊漁者は、漁協が漁業法（昭和24年法律第267号）に基づく報告等のために行う採捕量の調査等に協力するものとする。

(漁場監視員)

第11条 漁場監視員は、遊漁者に対し、この規則の遵守に関して必要な指示を行うことができる。

2 漁場監視員は、別記様式第2号による漁場監視員証を携帯し、かつ、漁場監視員であることを表示する腕章をつけるものとする。

(違反者に対する措置)

第12条 漁協は、遊漁者がこの規則に違反したときは、直ちに遊漁の中止を命じ、以後のその者の遊漁を拒否することができる。この場合、遊漁者が既に納付した遊漁料の払戻しは、行わないものとする。

(外来魚の再放流の禁止)

第13条 採捕された外来魚（オオクチバス、コクチバス、ブルーギル及びブラウントラウト等）は、再放流（リリース）してはならない。

(付則) この規則は、令和6年1月1日から施行する。